

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 超低出生体重児における新生児期ステロイド投与量と発達指数・知能指数との関連

[研究責任者] 小児科 林誠司

[研究の背景]

超低出生体重児では発達に問題を起こす児が多いとされています。超低出生体重児の状態安定のためにステロイド投与を必要とすることも多く、このステロイド投与が発達に問題を起こす可能性があります。修正 1 歳半、3 歳、6 歳（出産予定日より数えた年齢）の発達検査の結果と、新生児期のステロイド投与量との間に関連があるか否かを調査し、将来的な新生児治療の発展につながる知見を得るための研究を行います。

[研究の目的]

修正 1 歳半、3 歳、6 歳の発達検査の結果と、新生児期のステロイド投与量との間に関連があるか否かを調査し、将来的な新生児治療の発展につながる知見を得るための研究を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2015 年 4 月 1 日から西暦 2017 年 3 月 31 日の間に当院で出生した超低出生体重児（出生体重 1000g 未満）の方

●研究期間：西暦 2023 年 5 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：特にありません。

カルテ情報：

NICU 入院中のステロイド投与量、NICU 入院中の投与薬剤、超低出生体重児の合併症、発達検査結果(修正 1 歳半、3 歳、6 歳時点)等の診療情報を診療録より抽出して利用します。

●検体や情報の管理

集められたデータは、名古屋大学附属病院周産期母子医療センターへ提供し解析を行います。データの提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。研究登録 ID と加工する前の情報とを照合できる対応表は、各共同研究機関の責任者が保管・管理します。

[研究組織]

名古屋大学附属病院
安生厚生病院
大垣市民病院
岡崎市民病院
江南厚生病院
公立陶生病院
トヨタ記念病院
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である林誠司が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院
444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
小児科 林誠司
電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913